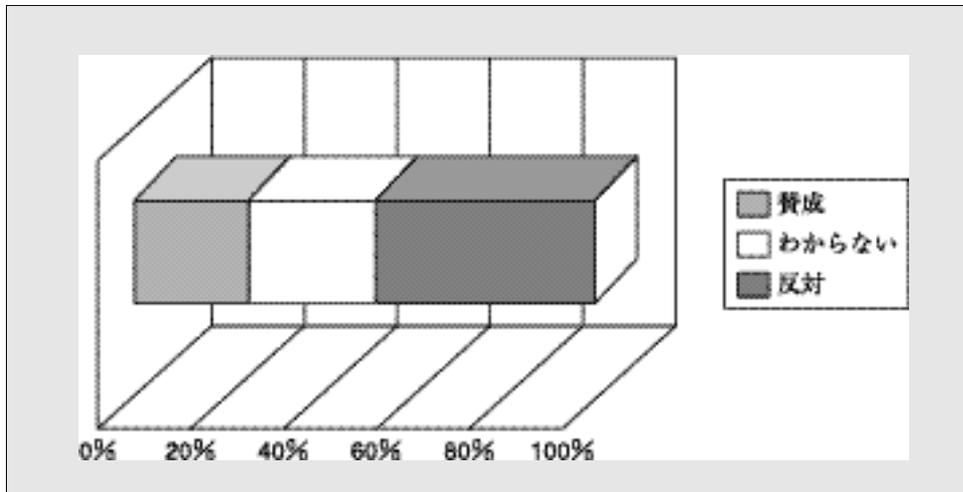


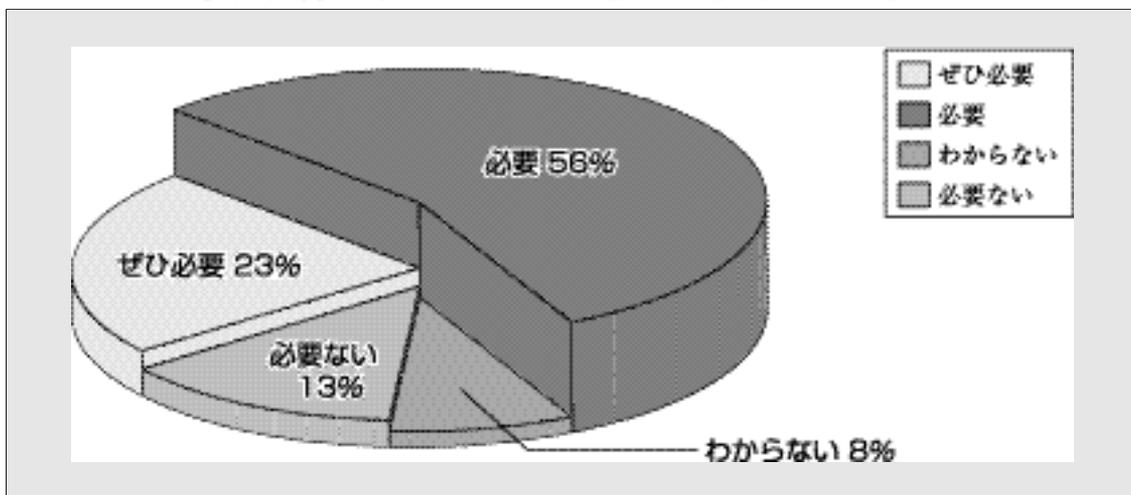
子どもたちがいきいきと
成長できる社会を目指して

「平成14年度実施予定の『ゆとり教育』に賛成ですか」の質問で「反対」が多い結果となりました。これは子どもさんたちの学力低下を心配されているからかもしれません。来年度から授業内容が削減され、履修すべき内容が減り、余った時間をどのように使うか（指導の仕方・その他の履修内容）が学校の裁量に任されることとなります。今回のアンケートの中でも今後の学校運営のあり方に対して様々な意見が寄せられました。（左図）

平成14年度実施予定の「ゆとり教育」に賛成ですか



学校教育にボランティア活動は必要と思いますか

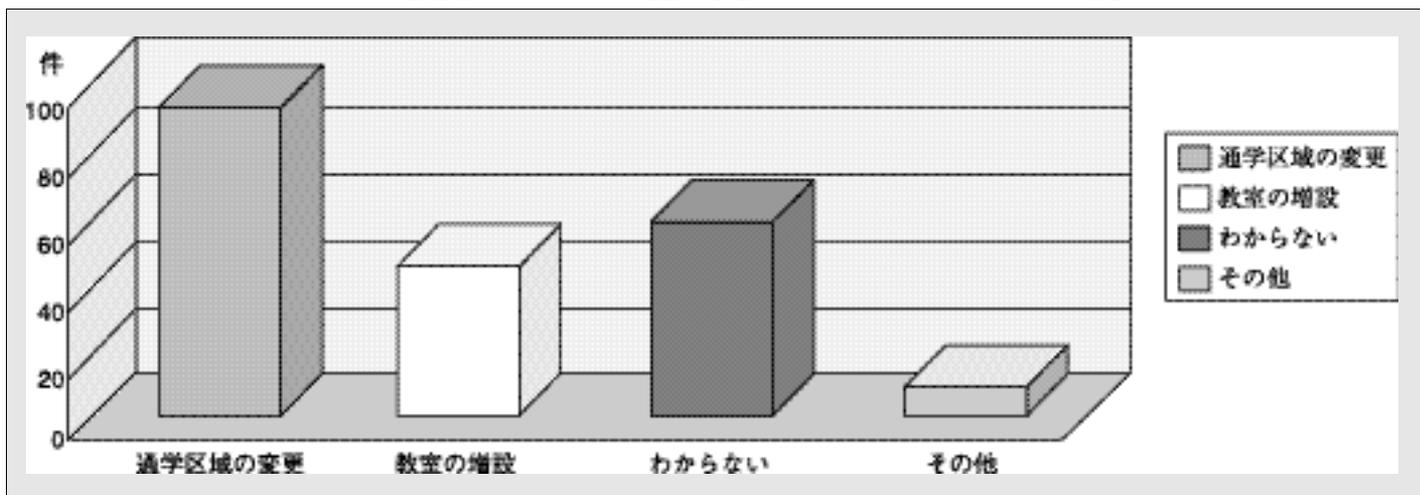


〈ボランティア教育について〉

学校教育においてのボランティア活動を大多数の方が必要と考えられています。これは、昨今凶悪な事件が頻発する世の中にあつて心の教育の重要性を感じられているからではないかと考えます。

また、他人のことを考えない自分中心な人が多い中で人間の社会性をこどもの頃から考えさせないといけないと、みなさんが思われているからではないでしょうか。（右図）

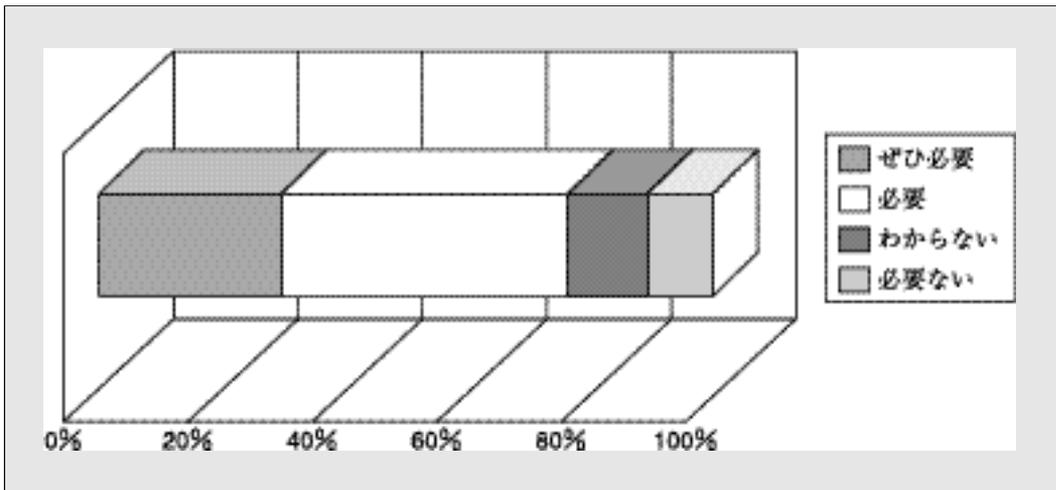
1クラスの生徒数のバランス化を図るためにすべきことは何ですか



〈1クラスの生徒数について〉

「1クラスの生徒数のバランス化のために」の質問の結果は「通学区域の変更」、「教室の増設」の声が多く、通学区域を自由にしたい、という意見もありました。（左図）

学校運営に市民の声が反映できるシステムが必要と思いますか



〈学校運営に市民の声が必要〉

学校運営にあたり、市民の声が「ぜひ必要」「必要」という意見が4人中3人を占めています。

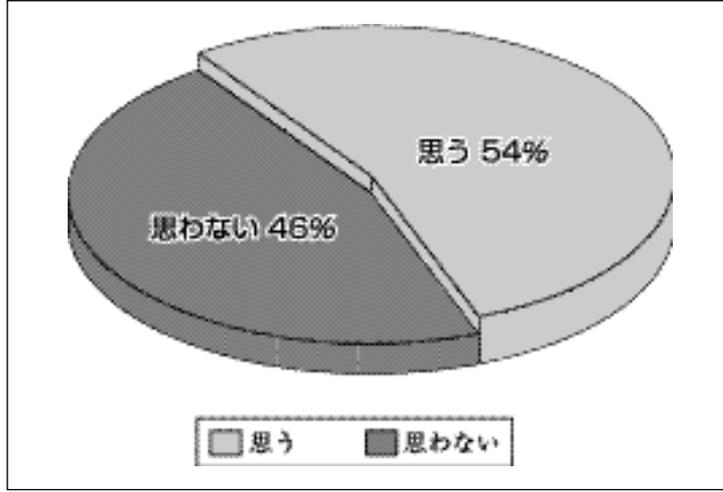
しかし、市民の声ばかりが大きくなると教師のやる気をそぐことになり、それがなくなると何もしない学校になったり、行き過ぎの学校になるかもしれません。

このシステムを具体的にどのような形でつくっていくかは、地域・家庭・学校それぞれの信頼の上に十分な検討を加えていく必要があると考えます。（右図）

人にやさしいまちづくりには意見が多数

「長岡京市の防災施策は充分だと思いますか」の質問では、「思う」と「思わない」が拮抗する結果となりました。充分と「思わない」という意見の中には、警察がない、交番が少ないといったことから犯罪への対応能力の不安や、西部での防災施設がないこと、道路が狭いことによる災害時の非難や緊急車両の乗り入れに不安を叫ぶ意見が多数寄せられました。(左図)

長岡京市の防災施策は充分だと思いますか



また、防災訓練の必要性や災害時の避難行動について防災マップの配布だけでなく、詳細に説明したものが必要であるとの意見もありました。

〈バリアフリーすべき場所〉

駅、市役所、文化会館などの公共施設、

病院に意見が集中し、バスの停留所なども含めた歩道の段差解消の意見も多数寄せられました。

〈歩行中に危険と思うところ〉

一般的に道が狭い、歩道が少ない、歩道があってもガタガタになっているなどの意見を大多数の方から頂いています。土地に限られている中で、自動車の利便性と歩行者の安全は相反するところもありますが、どちらかをないがしろにするのでなく、自動車と歩行者の共生の視点で考えていかなければなりません。



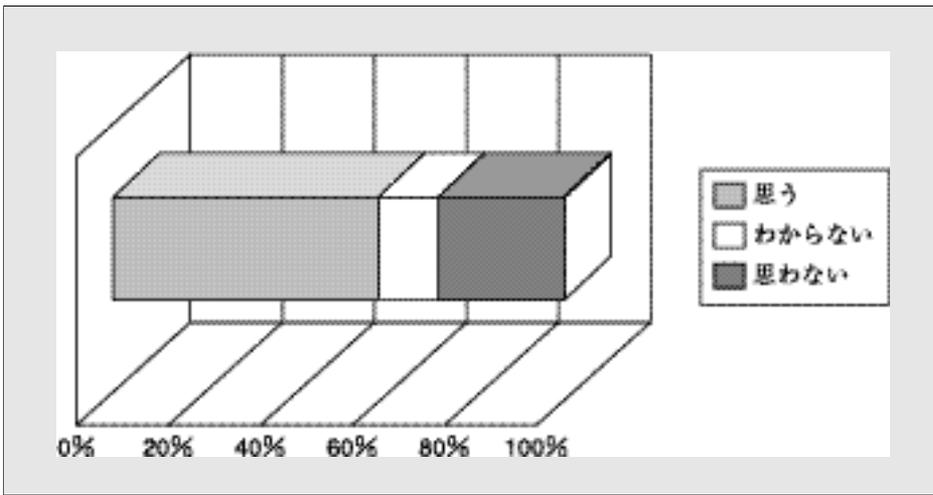
循環型社会への積極的取り組みが必要

「個人負担が増えてもリサイクル行政をすすめるべきと思いますか」の質問に対して「思わない」という方が28%おられます。

これは個人負担に引っかけられておられるのではないかと思います。ユーザよりもむしろメーカー責任を問うべきだと考えられているのではないのでしょうか。

しかし、この問題は、行政まかせ、住民まかせ、メーカーまかせと考えるのではなく、自分自身の問題としてとらえ、充分な関心をもつ必要があると考えます。(左図)

地球環境保護のために税金や個人負担をかけてもリサイクル行政を進めるべきと思いますか

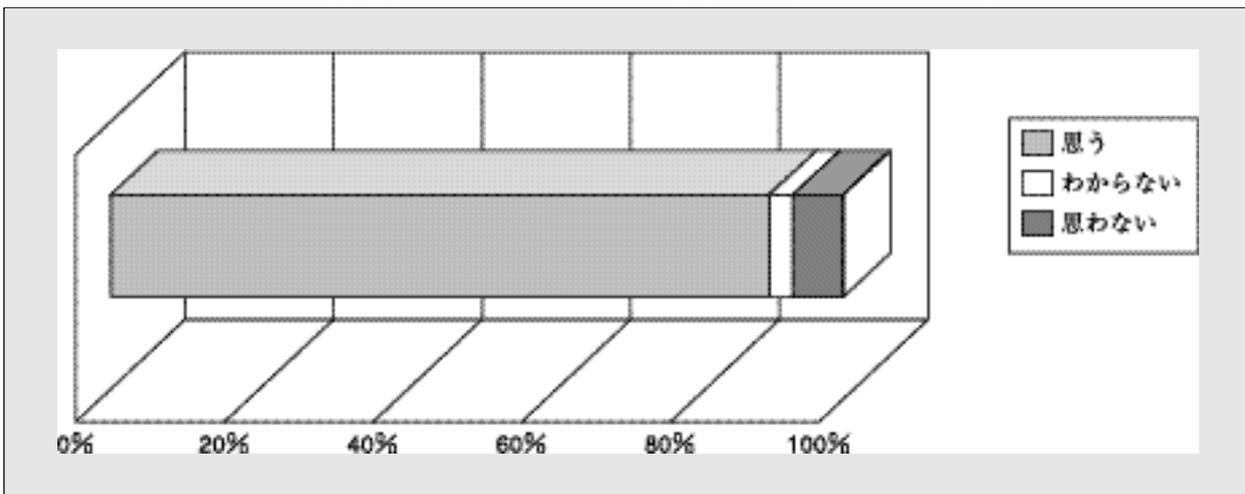


〈過剰包装には反対〉

「メーカーの過剰包装やプラスチック包装を廃止すべきと思いますか」の質問に対して「思う」が圧倒的多数となっています。

アンケートの声で、「スーパーでの過剰包装を希望する人には、有料とすべき」ということを意見としてあげられている方がおられました。(左図)

メーカーの過剰包装やプラスチック包装を廃止すべきと思いますか



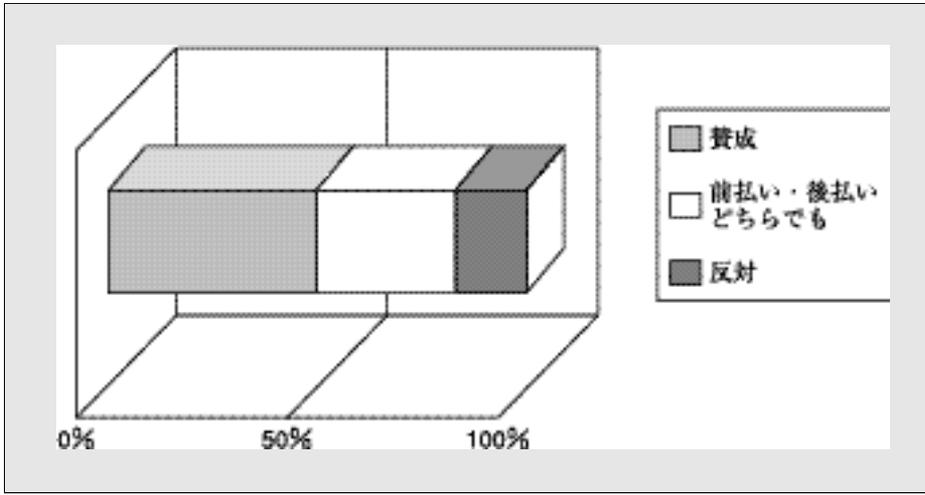
「リサイクル行政は推進すべき」

「リサイクルの課金システムとして前払いに賛成ですか」の質問をしました。前払いの利点は確実に徴収できること、短所はたとえば車のように使用者が変わるものに対して、課金の納得性が得られるかということであり、また後の利用者には課金しないことで、リサイクルの意識をもってもらうことができるかという懸念があります。

後払いの利点は、リサイクルの意識が高くなることですが、徴収を逃れるための不法投棄の問題があります。

アンケートの結果は、「前払いに賛成」が「反対」の3倍あり、リサイクルの意識の高さが伺えます。(左図)

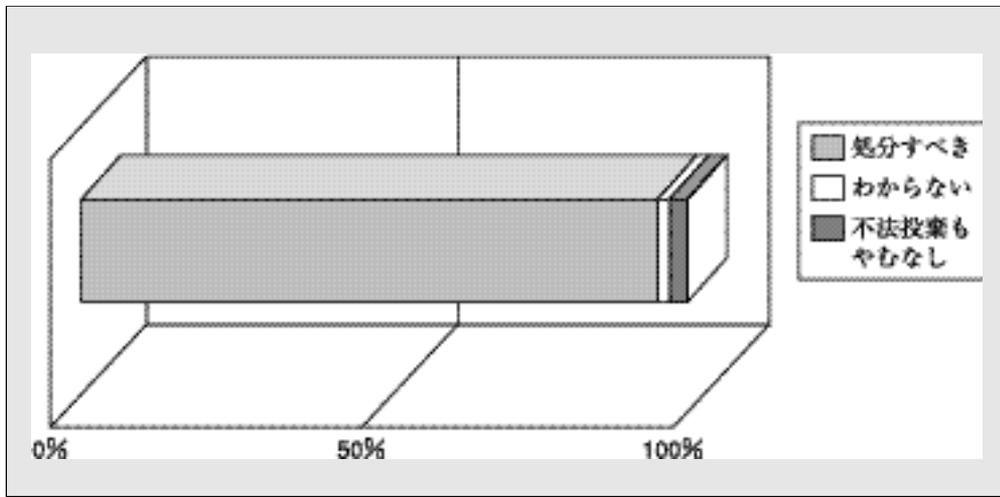
リサイクルの課金システムとして前払いに賛成ですか



「不法投棄には厳しい声」

廃家電の不法投棄の問題については市内でも不法投棄と思われる現場がありますし、それを問題視する意見も頂いています。処分前提でなく、市民全員が作りあげられるルールとして「不法投棄をしない」「お金を納めてリサイクルしていく」という意識の向上を図っていかねばなりません。(左図)

廃家電の不法投棄について厳しく処分すべきだと思いますか



『やむなし』

今回のアンケートにご協力いただきましたみなさまのご意見ご要望を市政反映すべく、進藤裕之は努力してまいります。今後とも進藤の活動にご指導・ご鞭撻を賜りますようによろしくお願いいたします。

最近、新聞やテレビなどで地方分権に関する記事やニュースを見かけることが多くなりました。

これまでの地方分権は、財源が地方自治体へ委譲されないままでしたが、昨今財源委譲も含めた形での地方分権のあり方について議論がなされています。

このように財源委譲も含めた形での地方分権が進んでいきますと、これからの地方自治についてはその自治体の行財政のあり方によって、その自治体に対する住民の満足度に大きな差が生じてくることが考えられます。

私は、長岡京市に住まれている市民の皆様が“これからもずっと住み続けていきたい”と思える長岡京市を実現するために、『開かれたわかりやすい議会の実現』、『合理的行財政運営の推進』、『子どもたちがいきいきと成長できる環境の整備』、『全ての人にやさしい安心なまちづくりの実践』、『自然と共生できるくらし文化の創造』という5つの政策をもとに、市民の皆様の智慧と工夫を活かして具体的な活動へむすびつけていきたいと考えております。

このアンケート結果を、これからの私の活動に対して大いに参考とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

